

## 研究課題「双胎妊娠における染色体異常の発症頻度に関する調査研究」に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2016年1月1日から2018年12月31日に名古屋大学医学部附属病院で出産した双生児（ふたご）をご出産された方。妊娠12週以降に死産された方、1児が死産となった方も含みます。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

本研究の目的は、日本における双胎における染色体異常の頻度について明らかにし、膜性によって染色体異常の発生するリスクに差があるかを検討することです。

この研究は、東京慈恵会医科大学産婦人科講座が中心となって実施される多施設共同研究で、本学は下記のNIPTコンソーシアム加盟施設として、研究に参加します。

研究方法は、研究対象となる方の3に示された情報を匿名化した状態で、東京慈恵会医科大学産婦人科講座に送付します（送付方法は4を参照ください）。全体で約5500名（予定）の情報が統合して解析される予定です。

研究期間は、実施承認日～2021年8月31日までが予定されております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：双胎の膜性、妊娠時の母体年齢、妊娠方法、児の染色体異常の有無、分娩週数、児の合併症 等

試料は用いません。

### 4. 外部への試料・情報の提供

東京慈恵会医科大学産婦人科講座への情報の提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、本学の管理責任者が保管・管理します。

### 5. 研究組織

研究代表者 東京慈恵会医科大学産婦人科講座・助教・小西晶子

共同研究者

東京慈恵会医科大学産婦人科講座・教授・岡本愛光

東京慈恵会医科大学産婦人科講座・准助教・佐村修

東京慈恵会医科大学産婦人科講座・助教・上出泰山

東京慈恵会医科大学産婦人科講座・助教・伊藤由紀

東京慈恵会医科大学産婦人科講座・助教・佐藤泰輔

東京慈恵会医科大学産婦人科講座・助教・松岡知奈 ほか

NIPT コンソーシアム加盟施設 83 施設

NIPT コンソーシアム公式ホームページ (<http://www.nipt.jp/index.html>)

## 6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院総合周産期母子医療センター・准教授・小谷友美（研究責任者）

〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

研究代表者：東京慈恵会医科大学産婦人科講座・助教・小西晶子